

平成30年2月27日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

石油給湯機付ふろがま、エアコン(室外機)に関する事故(リコール対象製品)について
(詳細は次頁以降参照。)

- | | |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
(うち石油ストーブ(開放式) 2件、石油給湯機付ふろがま 1件、
屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用) 1件) | 4件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
(うちエアコン(室外機) 1件、送風機 1件、蛍光ランプ 1件) | 3件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
(うち自転車 1件、布団乾燥機 1件) | 2件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件なし | |

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社ノーリツが製造した石油給湯機付ふろがまについて（管理番号：A201700763）

① 事故事象について

株式会社ノーリツ（法人番号：6140001010383）が製造した石油給湯機付ふろがまを使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（無償改修）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、電磁ポンプの制御弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことにより、漏れた灯油に引火し、火災に至る可能性があることから、事故の再発防止を図るため、２００２年（平成１４年）１０月２４日以降、複数回にわたって新聞社告を行い、対象製品について無償改修（安定した材質のＯリングに交換）を実施しています。

さらに、全石連（全国石油商業組合連合会及び全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合又は石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないか確認を行うなど、対象製品の改修促進を図っています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201700763）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品：会社名、ブランド、製品名、製造期間、対象台数

会社名	ブランド	製品名	製造期間	対象台数
(株)ノーリツ	NORITZ	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 *	1997年3月 ～ 2001年3月	180,900
高木産業(株) (現 パーパス(株))	パーパス	AX-400ZRD		
日立化成工業(株) (現 (株)ハウステック)	—	HO-350 * HO-360 * HO-450 * KZO-460 *		

(注) 製品名の末尾の*には英数字が続きますが、全て該当品です。

２００２年（平成１４年）１０月２４日からリコール（無償改修）を実施
改修率：９８．５％（２０１８年１月３１日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

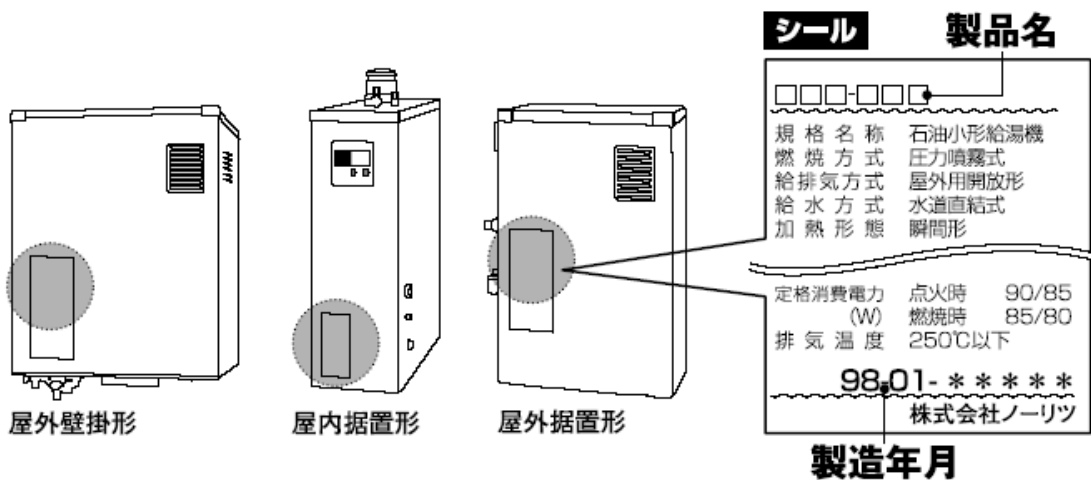
当該事故（管理番号：A201700763）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による２０１０年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	0	—	2013年度	7	火災
2016年度	1	火災	2012年度	10	火災
2015年度	2	火災	2011年度	7	火災
2014年度	4	火災	2010年度	12	火災

<対象製品の確認方法>

製品名、製造年月は器具本体前面にシールで表示されています。

排気及び設置方式により、図のような形状があります。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社ノーリツの「NORITZ」ブランドのほか、高木産業株式会社（現 パーパス株式会社）の「パーパス」ブランド、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）の製品もあります。

【問合せ先】

株式会社ノーリツ

電話番号：0120-018-170

受付時間：9時～18時（平日）

ウェブサイト：<http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html>

パーパス株式会社

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ウェブサイト：<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

株式会社ハウステック

電話番号：0120-551-654

受付時間：9時～17時30分（平日）

ウェブサイト：<http://www.housetec.co.jp/2002/10/ho-350.html>

⑤一般社団法人日本ガス石油機器工業会による取組

一般社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について、上記のリコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、2008年（平成20年）11月から12月にかけて、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のウェブサイトにおいて、東京ツチャ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

対象製品：ブランド名、会社名、機種・型式、製造期間、問合せ先

ブランド名<会社名>	機種・型式、製造期間	問合せ先
NORITZ <株ノーリツ>	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 * 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html 電話番号：0120-018-170
ハウステック <日立化成工業株 (現 株ハウステック)>	H0-350 * H0-360 * H0-450 * KZ0-460 * <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト http://www.housetec.co.jp/2002/10/h0-350.html 電話番号：0120-551-654
TOTO <東陶ユプロ株 (現 TOTO株)>	RPE32K * RPE40K * RPE41K * RPH32K * RPH40K * RPH41K * 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309
パーパス <高木産業株式会社 (現 パーパス株)>	TP-BS320 * D (ただし、TP-BS320は除く。) TP-BS402 * D TP-BSQ402 * <TOTO株製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月 AX-400ZRD <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html 電話番号：0120-575-399
NEPON <ネポン株>	URA320 URA320S URB320 URB320S UR320 UR320S UR404S <TOTO株製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309 TOTO株で受付

ブランド名<会社名>	機種・型式、製造期間	問合せ先
日本ボイラーメンテナンス <株式会社日本ボイラーメンテナンス社>	UFN-333A (湯FO) <TOTO(株)製> 製造期間:1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号:0120-444-309 TOTO(株)で受付
C I C <長州産業(株)>	PDX-403D DX-403D PDF-403D DF-403D DX-403DF 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	ウェブサイト http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html 電話番号:0120-652-963
	PDF-321V PDF-401A PDF-411D-A DX-411D PDX-321V PDX-411D <TOTO(株)製> 製造期間:1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号:0120-444-309
ツチヤ <東京ツチヤ販売(株)>	AX-402A EX-403A FK-405A FC-406A <長州産業(株)製> 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	ウェブサイト http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html 電話番号:0120-652-963 長州産業(株)で受付
ワカサ <株式会社ワカサ>	WBF-400C <長州産業(株)製> 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	

(注) 機種・型式名の末尾の*には英数字が続きますが、全て対象製品です。

(一般社団法人日本ガス石油機器工業会)

ウェブサイト : http://www.jgka.or.jp/information/2008/pdf/2008_11_21_sekiyuky uutouki_mushoutenken.pdf

(2) ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）について（管理番号：A201700762）

①事故事象について

ダイキン工業株式会社（法人番号：8120001059660）が製造したエアコン（室外機）及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、対象機種において制御基板に小動物やほこり・水分などの異物が侵入・付着したことによりトラッキングが発生し、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2009年（平成21年）2月3日にプレスリリース及びウェブサイトへの情報掲載、翌2月4日に新聞社告を行うとともに、販売ルートへのダイレクトメールの発送、販売店リストによる電話連絡により注意喚起を行い、対象製品について無償点検及び改修（制御基板表面のコーティング等により、基板の絶縁処理を行う）を実施しています。

また、対象機種の一部（下記③のうち「※」が付いている機種）について、コンデンサの端子部分が組立時に外力を受けたため、長期の運転時の振動により緩み、接触不良を起こして発煙・出火に至るおそれがあることから、上記対策に併せて、無償点検及び部品交換（コンデンサ部の交換）を実施しています。

③対象製品：機種・型式、対象台数、製造期間

機種・型式	対象台数	機種・型式	対象台数
AR2504X	15,924	RA255X-T	379
AR2505X	23,477	RA255X-W	11,567
AR2804X（※）	14,421	RA255X-WE	40
AR2805X（※）	22,084	RA284X（※）	29,645
RA224X	34,438	RA284XE（※）	124
RA224XE	154	RA285GX（※）	12,235
RA225X	13,954	RA285GXE（※）	10
RA225XE	179	RA285X-T（※）	368
RA2541X	4,662	RA285X-W（※）	11,717
RA2542X	5,953	RA285X-WE（※）	56
RA2542XE	20	RAZ255X	26,856
RA254X	27,660	RAZ255XE	84
RA254XE	102	RAZ285X（※）	27,667
RA255GX	14,572	RAZ285XE（※）	127
RA255GXE	15		
合 計			298,490

製造期間：1994年1月～1996年8月

（注）「※」が付いている機種は絶縁処理とコンデンサ部の交換、付いていない機種は絶縁処理のみを行う。

2009年（平成21年）2月3日からリコール（無償点検・改修・部品交換）を実施
改修率 25.7%（2017年12月31日現在）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201700762）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	0	—	2013年度	2	火災
2016年度	0	—	2012年度	0	—
2015年度	0	—	2011年度	0	—
2014年度	0	—	2010年度	2	火災

<対象製品の外観及び確認方法>

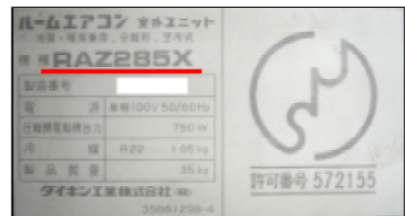
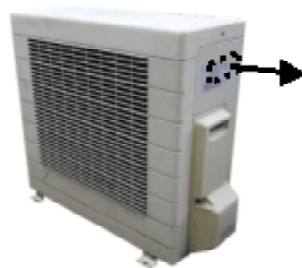
1) 対象製品の外観



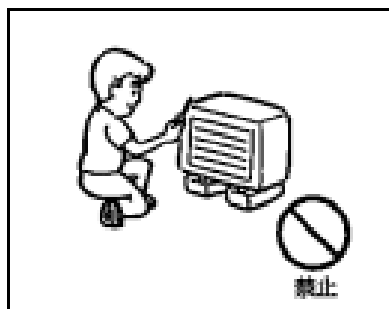
(写真はRA285X-W)

2) 対象製品の確認方法

右側面に機種・型式が表示されています。



(注) 自身で工具を用いての製品の分解等は危険ですので、決してしないでください。製品に不具合がある場合には、事業者の問合せ先に御連絡ください。



(参考1) リモコンから確認する場合

リモコン型番と室外機の機種・型式は異なります。

[リモコン型番 表示の位置]

・型番は、リモコン裏面に記載しています。

リモコン型番	
ARC401A5	室外機が対象機種となり対策が必要です
ARC401A7	対象以外の室外機の可能性もあります。ご面倒ですが、室内機の機種名をご確認ください(下記)
ARC402A1	
ARC407A1	※室内機での確認が困難な場合は下記
ARC408A2	フリーダイヤルまでその旨お申し出ください
ARC409A1	



※写真のリモコンは、一例です。リモコンの型番によって形状は異なります。

(参考2) 室内機から確認する場合

室内機は高所にあるため機種・型式を御確認いただく際は十分に御注意ください。

下記の室内機機種に対応する室外機が対象機種です。

なお、室内機は今回の無償点検等の対象ではありません。

室内機の機種・型式

AN2504X、AN2505X、AN2804X、AN2805X、F224TX、F225TX、F2541TX、F2542TX、
F254TX、F255TGX、F255TX、F284TX、F285TGX、F285TX、FZ255X、FZ285X

確認方法：右前面カバーに機種・型式が表示されています。

なお、この位置に機種・型式の表示がない場合は、対象機種ではありません。
【室内機 機種名表示の位置】



(注) 上図の室内機は一例です。室内機の型番によって形状は異なります。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び部品交換又は改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ダイキン工業株式会社

電話番号：0120-330-696

受付時間：平日、土・日・祝日ともに24時間受付

ウェブサイト：<http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2009/090203/index.html>

※上記ウェブサイトからも無償点検等の申込みが可能です。

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：柳川、平野、清重

電話：03-3507-9204（直通）

FAX：03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：橋爪、鈴木、植杉、高橋

電話：03-3501-1707（直通）

FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700759	平成30年1月25日	平成30年2月22日	石油ストーブ(開放式)	不明	株式会社コロナ	火災 軽傷1名	当該製品及び建物2棟を全焼する火災が発生し、1名が火傷を負った。現在、原因を調査中。	茨城県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年2月16日
A201700760	平成30年2月11日	平成30年2月22日	石油ストーブ(開放式)	SX-2270	株式会社コロナ	火災	当該製品を点火したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	製造から20年以上経過した製品 平成30年2月22日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201700763	平成30年2月10日	平成30年2月23日	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302Y	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	山梨県	製造から15年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:98.5%
A201700765	平成30年2月14日	平成30年2月23日	屋外式(RF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	GT-2050SAWX	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	香川県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700762	平成30年2月6日	平成30年2月22日	エアコン(室外機)	RAZ285X(推定)	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、原因を調査中であるが、対象機種において制御基板に小動物やほこり・水分などの異物が侵入・付着したことによりトラッキングが発生し、出火に至ったものと考えられる。	長崎県	製造から20年以上経過した製品 平成21年2月3日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:25.7%
A201700764	平成29年7月22日	平成30年2月23日	送風機	E-103-DX	山崎産業株式会社 (輸入事業者)	火災	事業所で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年2月20日 平成24年8月から自主改修を実施
A201700766	平成30年2月6日	平成30年2月23日	蛍光灯	EFD15EN/12-C5	NECライティング株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700758	平成28年12月13日	平成30年2月22日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、左手指を負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	千葉県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年12月15日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意
A201700761	平成30年1月26日	平成30年2月22日	布団乾燥機	火災	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成30年2月13日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

送風機（管理番号：A201700764）



蛍光ランプ（管理番号：A201700766）

